

EU Indicators

発表日: 2019年10月31日(木)

欧州経済指標コメント: 7-9 月期ユーロ圏GDP

～停滞継続、内需の下支えが一段と弱まる～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

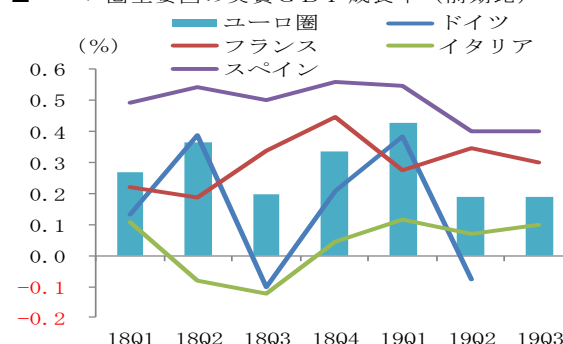
- 7-9月期のユーロ圏実質GDP成長率の一時速報値は前期比+0.2%、同年率+0.8%と、4-6月期から不変。なお、国別の内訳は11月14日、需要項目別の内訳は12月5日に発表される。
- 各国統計局から発表済みの国別計数は、フランス（4-6月期：同+0.3%→7-9月期：同+0.3%）、スペイン（同+0.4%→同+0.4%）、イタリア（同+0.1%→同+0.1%）、オーストリア（同+0.1%→同+0.1%）が揃って前期から不変、ベルギー（同+0.3%→同+0.4%）が僅かに加速。ここから11月14日に発表されるドイツは小幅マイナスが見込まれ、マイナス幅は限定的ながら（4-6月期は同▲0.1%）、テクニカル・リセッション入りした模様。
- 需要項目別の内訳が公表済みのフランスでは、企業設備投資が減速したものの高い伸びを維持、個人消費が小幅加速し、在庫がプラス寄与に転換、輸出が増加に転じたが、輸入の大幅増により外需がマイナス寄与に転落した。
- 10-12月期入り後の景気指標は、10月のユーロ圏のPMIやドイツIFO企業景況感などにやや下げ止まりの兆しがみられるものの、企業活動の停滞継続が示唆される。前日発表された10月のドイツの失業給付受給者数が前月差+6千人増と過去半年で4回増加。本日発表された10月のユーロ圏の失業率も過去数ヶ月は下げ止まっている。雇用の改善ペースが鈍っている点は気掛かり。

■ユーロ圏：PMI総合と実質GDP



出所：IHS Markit、Eurostat

■ユーロ圏主要国の実質GDP成長率（前期比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需				
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入			
17/10-12月期	4.2	3.2	(1.8)	1.4	1.0	4.0	(0.1)	1.3	9.4	7.3	
18/1-3月期	2.3	1.1	(1.8)	1.7	0.7	1.7	(0.4)	▲0.7	▲2.3	▲1.1	
18/4-6月期	3.0	1.5	(1.7)	0.7	1.5	5.1	(0.0)	▲0.3	4.0	5.1	
18/7-9月期	1.8	0.8	(1.7)	0.7	0.5	3.1	(0.6)	▲0.9	1.6	3.9	
18/10-12月期	3.5	1.4	(1.7)	1.5	1.6	6.5	(▲0.8)	▲0.3	3.6	4.7	
19/1-3月期	3.2	1.7	(0.4)	1.4	1.7	1.9	(▲1.1)	1.4	4.3	1.6	
19/4-6月期	2.8	0.8	(5.2)	0.8	1.4	24.6	(▲0.1)	▲4.5	0.7	11.5	
19/7-9月期	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。